

試験問題サンプル 読解試験

2010年度より、従来の試験課題のタイプに加え、次に示すサンプルのような課題が出題されます。

課題例 (短文)

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

どんなにいいことを言っても、口に出したことはすぐに消えてしまう。聞いた方もすぐに忘れてしまう。よほど印象深く聞いたことばなら、そうすぐには忘れもしないだろうが、ふつうは二、三日もすればほとんど忘れてしまうことが多いのではなかろうか。ところが、いいことを言った方は、相手は覚えているのが当然だと考えがちである。したがって、覚えていないことがわかった場合、けしからん、ということにもなりかねない。

… (略) … そこで、どうすればよいか、ということである。

一つは、くり返し話すことである。大切なこと、相手に覚えてもらいたいことは、何度も何度もくり返して言う。二度でも三度でも、五へんでも十へんでも言う。そうすれば、いやでも頭に入る。覚えることになる。

(松下幸之助『人を活かす経営』PHP研究所)

問1 いいことを言った人は、それを聞いた人の記憶について、どう考える傾向がありますか。

1. 覚えていなくても仕方ない。
2. 覚えているわけがない。
3. 数日なら覚えているだろう。
4. 覚えているものだ。

問2 次の文章で筆者が最も言いたいことはどれですか。

1. 聞いたことを忘れないためには、何度も繰り返して覚えるとよい。
2. 覚えて欲しいことは、相手にくり返し伝える努力が必要だ。
3. いいことを言った人は、相手が覚えていなくても怒らないほうがよい。
4. いいことを覚えるためには、相手に何度でも言ってもらおうことだ。